

4.6 堺臨海部における活性化方策のまとめ

堺臨海部における活性化方策をまとめると以下のとおりです。

堺浜

【環境創造のシンボル・魅力あるウォーターフロントの形成】
エコ・ヘルス・スポーツ・アグロ・テクノツーリズム

海辺の自然環境を再生・創造することで、かつての堺の海の賑わいを再興し、スポーツ・レジャー、観光、産業が一体となった海辺のレクリエーション拠点の形成をめざす。

生物多様性を有する大和川の汽水域という地理的特性を活かし、海や生物と楽しみ、憩える親水空間を形成することで、大都市生活で失われつつある癒し空間の創出、大阪湾再生やクールシティ・堺のシンボルとなる自然環境の創造・研究拠点の形成をめざす。

【活性化方策】

- ・水質、底質の改善による大阪湾の再生と環境負荷軽減への貢献
- ・親水レクリエーション空間の形成
- ・市民活動・交流空間の形成
- ・景観の向上
- ・未利用地の健康・賑わい・研究機能への活用
- ・スポーツ観光への活用
- ・パブリックアクセスの充実

堺旧港

【都心での海辺文化・賑わいの再興】
エンターテインメント・アーバンツーリズム

市街地との近接性の向上や歴史文化資源の更なる活用、世界と交易のあった中世のみなと機能の再興、景観への配慮、回遊性を高めることで、都心地域で市民・来訪者が気軽に海と触れ合え、みなとや歴史文化の香りが味わえる賑わい空間の形成をめざす。

【活性化方策】

- ・海辺で憩い、海を眺める魅力的な水辺空間の形成
- ・パブリックアクセスの充実
- ・地区内での人の流れの創出
- ・緑地・公園の利用促進
- ・魅力的な海辺景観の創出・誘導
- ・みなとの観光資源を活用した観光振興
- ・快適な水辺環境の創出
- ・周辺の公民有地との一体的な活用検討
- ・周辺賑わい施設やイベントとの連携

<キャッチフレーズ>

みんなで創り、楽しみ、伝えよう堺の海辺！

<将来像>

環境負荷の軽減に配慮しつつ、由緒ある歴史文化資源と新たな資産が融合した、憩い・癒し・賑わいある人や生き物にやさしい堺の海辺

<基本理念>

市民の財産「堺の“海”・“浜”」の再興・発展・継承



その他の臨海部

【物流・産業機能と共存した産業観光や質の高い水と緑の環境空間の形成】
アーバン・アグロ・テクノツーリズム

【活性化方策】

- ・産業観光の推進
- ・水質改善に資する新たな海水交換技術の検討
- ・緑の質・量の確保及び減災につながる緑化の推進
- ・地域間アクセスの向上

堺第7-3区

【いのち・環境を大切に
心を育む空間の市民還元】
ヘルス・エド・エコツーリズム

稼働した太陽光発電施設と相まって、共生の森づくりや長い水際線の環境配慮化を進めることで、臨海部の大規模な自然再生のシンボル形成、低炭素社会形成の推進に貢献していく。

多様なスポーツや環境学習、自然観察・自然保護活動の体験機会を創出することで、市民の健康増進・環境意識の向上に貢献していく。

新たな基礎杭工法や長期的な護岸管理方法など廃棄物処分場跡地利用に係る検討・提案を進めることで、土地の高度利用、暫定開放を実現し、土地の有効活用を通じて、更なる市の発展に寄与していく。

【活性化方策】

- ・市民活動・環境教育の一層の促進
- ・市民への健康・運動、コミュニケーション機会の提供
- ・複数のアクセス確保
- ・土地利用促進に資する新工法の検討
- ・新たな事業スキーム検討による親水・環境配慮護岸への転換

浜寺水路

【公園と一体となった親水・市民活動の促進】
エンターテインメント・エドツーリズム

市民・子どもたちが海や生き物と触れ合える場の確保や海洋性のレクリエーション活動の向上を図るとともに、環境教育の場としての活用を更に高めることにより、阪堺電気軌道の利用促進に貢献する。

【活性化方策】

- ・公園と水路が一体となった親水空間・自然環境の形成
- ・阪堺電気軌道利用促進に寄与するイベント開催・市民活動の展開
- ・環境保全・創造に係る啓発・機運成熟・人材育成
- ・地域の環境改善や地球環境の負荷軽減への寄与

(凡例)

- 健康・コミュニケーションの強化を図るエリア
- 自然環境の再生・創造の強化を図るエリア
- 親水・レクリエーションの強化を図るエリア
- 交流機能の強化を図るエリア

※航空写真は大阪府より提供